

Sustainable Kyushu

さすてなぶる九州

だい  
えい  
さん  
ぎやう  
大英産業株式会社  
代表取締役社長

一ノ瀬謙二氏

Kenji Ichinose

取引店／福岡銀行黒崎支店



「元気な街、心豊かな暮らし」

SDGsを包含する経営理念を掲げ、社員が自ら考え行動し、地域の社会課題を解決していく

2022年11月に創業55周年を迎えた、北九州市八幡

西区に本社を置く大英産業株式会社。新築分譲マンションの「サンパーク」シリーズや、新築一戸建て「サンコート」「EVOLVE」<sup>エボリュー</sup>シリーズ、中古住宅やタウンハウスなど、お客様のライフスタイルに合った住まいを提供し続けてきました。

同年10月に代表取締役社長に就任した一ノ瀬謙二社長は、社会に貢献する企業理念の下、SDGs（持続可能な開発目標）の実現という大きな目標に向かって、社員一人ひとりが自ら学び、考え、行動し、いきいきと働ける職場づくりを目指されています。

「どんな社会を創りたいのか？」

私たちが考える社会課題が結果としてSDGsに繋がった

当社がSDGsの取り組みに至った経緯は、今から10年ほど前にさかのぼります。ちょうど私が役員になったとき、「住まいを通じて幸せをお届けする」という経営理念がありました。もともと社員が、仕事の価値や目的を自身で語れるようになる必要があると感じたため、経営理念を見直そうとプロジェクトが開始しました。手始めに、経営コンサルティング講演をお願いしたのですが、最初に問い掛けられたのが「あなたはこの社会をどう変革させますか」という質問でした。「会社ではなくて社会？」と、非常に驚いたのですが、「100億円以上を売り上げる企業であるならば、世の中にいかに価値を提供できるのか、社会課題をどのように解決できるのかを考えなければならない」と問われたのです。

そして、約3年をかけて考えた経営理念が、「元気な街、心豊かな暮らし」でした。その際、これから会社が取り組む重要なテーマに、

「人材育成」「生産性向上」など5つほど決め、その中の一つである「社会的責任」が私たちのSDGsのスタートになりました。その後、SDGsという概念が広がり始めると、自分たちがやろうとしていることは、まさにこれだと確信したのです。

## 社員の提案から生まれた

### 「出張ことも大工」

### SDGsの推進で、働きがいのある職場に

社員の平均年齢が約34歳と、非常に若いエネルギーに溢れる会社です。もともとチャレンジ精神を大切にする社風があり、私も自ら考え、行動できる自律協働型社員の育成を目指しています。会社が成長する中で、各自が「何をしたいのか」「どうなりたいたいか」「そのため何をするのか」という3つの課題に取り組むよう伝えていきます。

具体的に提案できる場として、年に1回NBC(ニュービジネスコンテスト)を開催し、優れた提案は新規事業としての計画を立てた

うえで事業化を目指しています。一方で、小さな提案や社員の良いところを拾い上げ、新しいチャレンジや人のためになった行動などを表彰しています。

それらの提案の中から生まれてきたのが、北九州SDGsクラブ(※)のプロジェクトチームの一つとして立ち上がった「北九州みらいキッズプロジェクト」出張ことも大工」でした。この取り組みは、元々シニア大工のセカンドキャリアの場をつくりたいと思っていた社員が、廃棄されている住宅端材を見て、「別のものに再活用できないだろうか」と感じたところから始まりました。そのアイデアが発展して、シニア大工がカットした木工キットを利用して椅子やフォトフレームづくりなどを行う大工体験につながっていきました。さらには、近隣の障がい福祉サービス事業所「桑の美工房」様にお願ひできることがないかと考え、端材の研磨作業を依頼し、障がいのある方の工賃向上につなげることができました。

(※)SDGsに関連する活動にすでに取り組んでいる、または関心をもっている団体、企業、個人等が参加でき、会員同士の交流や情報交換を通じて、各々の活動の活性化を目指すプラットフォーム

今では多くの地元企業、地元の大学の学生さんにもスタッフとして協力していただきながら、幼稚園などの教育機関、地域イベントに出張。各種メディアにも取り上げていただくまでになりました。

社員たちも、わが子や知人のお子さんが通う幼稚園に出張に出向いたり、メディアで取り上げられたりしたことで、社会に貢献していることへの実感が湧き、新たな意欲の創出にもつながっています。これらの取り組みは、「ウッドデザイン賞」JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2021や、「KIDS DESIGN AWARD 2022」を受賞しました。

また、最近では社員の提案によるオリジナルのエンディングノート「かぞくのかたち」も話題になっています。私たちは不動産の相続において、遺族間でのトラブルが起きる事例を数多く見てきました。そこである社員が不動産相続に関することも書き込むことができるエンディングノートを作成。お客様の悩みやご相談に、細かく対応できるようになりました。このノートには、回収した古紙を新たな紙にして再び利用するプロジェクト「KAMI KURU」



Sustainable  
Kyushu



1.出張こども大工で自分たちで作りに上げたフォトフレームを手に記念撮影／2.シニア大工にやさしく手ほどきを受ける園児たち／3.住宅端材から作られたトロフィーについて説明する一ノ瀬社長／4.住宅端材から作られたメダルスタンドやトロフィー／5.住宅端材を駆使してウッディな設えの北九州マラソン2023の企業ブース／6.北九州市東折尾地区市有地開発事業完成イメージ／7.再生紙を使用したオリジナルエンディングノート「かぞくのかたち」／8.社史メタバースイメージ





一ノ瀬謙二社長

から生まれた再生紙を使用しており、資源循環にもつながる取り組みとなっています。

さらに、当社の創業55周年を記念した社史の制作を行う中で、ある社員から企業DXからさらに一歩進んだ「メタバース」への展開について提案がありました。これは面白いと、2023年6月に企業や自治体のシステムのクラウド化やDXを推進する株式会社ピー・ピーシステムズとの共同で、まずは「社史メタバース」に着手。若い社員たちが会社について知る機会になり、今後はこれらを発展させて、

当社のサービス拡充と地域課題の解決につなげられないかと模索中です。

「元気な街、心豊かな暮らし」の経営理念が生まれたことで、社員一人ひとりが大きな目標に向かって学び、考え、行動できるようになり始めたと感じています。SDGsに関する取り組みは大小様々あるものの、社員が働きがいを持つて仕事に取り組みめるようになったことが何よりも大きかったと思います。自分たちの挑戦が形になっていくことを実感してもらいながら、毎日いきいきと働いてほしいと思っています。

### 超高齢社会の地域を活気のある街に 住宅の地産地消にも着手

私たち大英産業は、経営方針として「地域愛着経営」を掲げています。北九州市は全国の政令指定都市の中でも高齢化が最も進んでおり、そのために「人口減少や核家族化」「空き家問題や建物の老朽化」といった課題に、どこよりも早く取り組みなければなりません。そこで、私たちは地域の課題を解決できる会社と

して、「多様な住まいの提案」「多世代共生型の街を創造」「資源の効果的活用」という3つの解決手法を掲げました。

これらの集大成の一つとも言えるのが「街づくり」です。特にJ.R.陣原じんのはら駅南口・北九州市東折尾地区の再開発事業では、「あんしんとにぎわいとやすらぎの街」をコンセプトに、駅前「医・商・住」複合施設の実現を目指しています。

これまでの街づくりは、住宅地、商業地が別々にあったことで、住民が高齢化するとアクセスしにくくなり、街の活気が失われる原因となっていました。そこで行政や企業とも協力して、共同住宅、商業施設、そして病院が一つになったコンパクトな街づくりを行い、SDGsの目標の一つでもある「住み続けられるまちづくりを」を実現していきたいと考えています。

さらなる新たな試みとして、「住宅の地産地消」に向け、動き出しています。実は北九州は山林が非常に多い地域でありながら、そのほとんどが放置されています。木は樹齢60年を超えると保水力が弱まるため、近年の災害の原因にもなっています。また、光合成をしなくなることから二酸化炭素を吸収する力が弱まる

とも言われています。そこで地元の木材を住宅建築に活用し、新たに植林をしていくことで、災害を防ぐと同時にカーボンニュートラルを達成し、SDGsの目標である「つくる責任、つかう責任」「気候変動に具体的な対策を」を実現することができます。のではないかと考えました。

年内には、この地元木材を使った住宅が完成します。この建築で生まれる端材は、また「出張ことも大工」に活用していくつもりです。そしてこの子どもたちが大きくなって家を建てる頃に、植林した木が大きくなり、その木を使って新しい家を建てるようになれば、SDGsが目指す素晴らしい循環型社会が実現できるのではないかと信じています。



本社横の「DAIEI LOUNGE」前にて。建物内は購入者専用のオーナーズラウンジとオフィスラウンジに分かれている。  
右からノ瀬社長、伊勢支店長(福岡銀行)

## 大英産業 株式会社

■本社所在地：〒807-0075 福岡県北九州市八幡西区下上津役4-1-36

■電話番号：093-613-5500

■事業内容：新築分譲マンションの企画販売、  
新築一戸建住宅の企画販売・宅地開発・造成・販売、中古住宅の買取り再販、  
住宅リフォームの企画・設計・施工、タウンハウスの企画販売、街づくり事業

■グループ会社：大英リビングサポート株式会社、株式会社大英工務店、株式会社大英不動産販売、  
株式会社大英エステート

